

奄美大島ノネコ管理計画 ロードマップ(2023年度改訂)

策定者 環境省沖縄奄美自然環境事務所、鹿児島県、奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町

本ロードマップの役割 奄美大島全域においてノネコ管理計画に基づくノネコ対策を着実に進めるにあたり、関係機関の対策を加速させ、連携をさらに強化するため、具体的な対策手順やスケジュールを示すもの。

最終目標 (管理計画の目標) 多くの固有種・希少種を含む奄美大島の生態系に対してノネコが及ぼす潜在的、顕在化した影響を取り除き、さらにノネコの発生源対策を講じることで、同島独自の在来生態系の保全に資する。

捕獲等事業と並行して、適正飼養、捕獲個体の譲渡の推進等の対策を確実に進めることで(①~⑤)、ノネコによる在来生態系への影響排除を継続可能な形で実現する。

- 最終目標達成に向けた手順(概略)
- 奄美大島西部のエリアを捕獲作業モデル地域(南西部捕獲地域)として試行的な対策を行い、ノネコ捕獲やモニタリング等の対策手法の検証を行う。【ノネコの捕獲排除】
 - 適正飼養の重点地区(集落地区)とネコ適正飼養モデル地区(市街地地区)を設定し、TNR、マイクロチップ装着、不妊去勢等の実施率を向上させるための取組を重点的に行う。【ノネコの発生源対策】
 - 南西部捕獲地域での検証結果を踏まえて、奄美大島全域でノネコ捕獲やモニタリング等の対策を行う。【ノネコの捕獲排除】
 - 適正飼養の重点地区(集落地区)を拡大していくとともに、ネコ適正飼養モデル地区(市街地地区)での取組を他地区へ展開していく。【ノネコの発生源対策】
 - 奄美大島全域について、進捗状況の把握や評価を行い、取組や計画にフィードバックしながら順応的な対策を行う。【全体の評価と見直し】

年度	希少種生息域(森林内)からのノネコの捕獲排除			ノネコの発生源対策		全体の評価と見直し
	森林域での捕獲	在来種モニタリング	捕獲後の対応	集落地区	市街地地区	
2018年度 (1年目)	<南西部捕獲地域> 【目標】 ・効率的な捕獲手法の確立 ・モニタリングの併用 ・在来種混獲の低減	<南西部捕獲地域> 【目標】 ・南西部捕獲地域における在来種生息状況の把握 ・必要な手法の検討	【目標】 ・譲渡の推進 ・普及啓発の実施	【目標】 ・適正飼養の徹底 ・普及啓発の実施	モデル地区の設定 ・市街地にネコ適正飼養モデル地区を設定し、地域住民、民間団体と適正飼養を推進 【目標項目】 重点地区と同じ <モデル地区>	【奄美大島ノネコ対策ワーキンググループの開催】 (開催事務：鹿児島県)
2019年度 (2年目)					【目標】 ・モデル地区におけるネコの状況の把握 ・民間団体主体によるノラネコモニタリングの実施(計4回)	
2020年度 (3年目)	奄美大島全域における捕獲手法・方針を決定			重点地区の設定 ・希少種の保全上重要な地域の隣接地区を基に3つの重点地区(集落単位)を設定 ・2021年度以降を4期に分けて対策を実施 【目標項目】 ①：飼い猫のマイクロチップ装着率 ②：外飼いネコの不妊去勢率 ③：完全室内飼いの割合 ④：ノラネコのTNR率	【目標】 ・市街地地区におけるネコの状況の把握 ・モデル地区におけるネコの状況の把握 ・地区住民主体によるノラネコモニタリングの継続実施(計1~2回/年) ・モデル地区取組の他エリアへの展開	・各取組の進捗状況の整理、内容の点検、見直し
2021年度 (4年目)	2020目標：ノネコの管理手法を一定程度確立			<重点地区A> 【第1期目標】 ①：70% ②：80% ③：60% ④：80%以上	・集落地区(各年度の重点地区に対応)、市街地地区で講習会、キャンペーンを実施 ・関係機関への情報提供	
2022年度 (5年目)	2022目標：南西部捕獲地域におけるノネコの顕著な減少					・取組全体の進捗状況の評価、必要に応じた計画の見直し ・飼い猫条例の点検、見直し
2023年度 (6年目)		<奄美大島全域> 【目標】 ・奄美大島全域における在来種生息状況の把握		【第2期目標】 ①：80% ②：90% ③：70% ④：80~90%	【第2期目標】 重点地区Aの第1期目標と同じ	
2024年度 (7年目)	<奄美大島全域> 【目標】 ・奄美大島全域におけるノネコの低密度化	・全域モニタリングの実施(~2025年度)				
2025年度 (8年目)	・全域捕獲体制の確保(2024~2026年度) ・捕獲作業の効率化			【第3、4期目標】 ①：90~100% ②：100% ③：70% ④：80~90%以上	【第3期目標】 重点地区Aの第1期目標と同じ 【第4期目標】 重点地区Aの第2期目標と同じ	・全体の進捗状況評価、内容の点検、見直し ・飼い猫条例の点検、見直し
2026年度 (9年目)	※捕獲地域優先順位 ① 国立公園区域 ② 現捕獲地域に隣接する地域で優先度を判断					・奄美大島全体におけるノネコの個体数推定 ・ノネコ管理計画の目標達成状況の評価、今後の対策の決定
2027年度 (10年目)	2027目標：奄美大島全域におけるノネコの低密度化、集落及び市街地地区から新たなノネコ・ノラネコが発生しないこと			【第4期目標】 重点地区Aの第3、4期目標と同じ	【第4期目標】 重点地区Aの第2期目標と同じ	
最終目標：生態系に対するノネコの影響の排除、在来種の生息密度や生息範囲の増加・回復						

(凡例)

実施主体
：環境省 ：県 ：協議会 ：全体 ：その他

主な取組 (色は実施主体で変更)

目標：全体目標
 方針：方針
 評価：全体評価